

第9巻 PDF 読本



元北陸本線（米原～直江津）

2024年4月6日 歩く鉄道作家 樫原 勉

<目次>

はじめに

第1章 北陸本線（米原～余呉：営業キロ 26.5 km）・・・4

第2章 北陸本線（余呉～敦賀：営業キロ 19.4 km）・・・18

第3章 北陸本線（敦賀～福井：営業キロ 54.0 km）・・・30

第4章 元北陸本線（福井～石動：営業キロ 101.3 km）・・・48

IR いしかわ鉄道（金沢～倶利伽羅：営業キロ 17.8km）

あいの風とやま鉄道（倶利伽羅～石動：営業キロ 6.8km）

第5章 元北陸本線（石動～糸魚川：営業キロ 113.8 km）・・・76

あいの風とやま鉄道（石動～市振：営業キロ 93.3km）

えちごトキめき鉄道（市振～糸魚川：営業キロ 20.5 km）

第6章 元北陸本線（糸魚川～直江津：営業キロ 38.8 km）・・・119

えちごトキめき鉄道（糸魚川～直江津：営業キロ 38.8 km）

はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の手記記録です。これまでの 5 巻（うち 2 巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第 6 巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。第四弾目として、元信越本線や東海道本線などに接続する、滋賀県・福井県・石川県・富山県・新潟県を走る、本州中部にある元北陸本線の旅（営業キロ 353.8 km）について執筆させて頂きました。なお、北陸新幹線の登場により、金沢から直江津までの区間の鉄道の名称が変更になっています。

本作品はカッシー館にある樫原勉文庫で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 18 作目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

第1章 北陸本線（米原～余呉）

第258回のウォーキングは、2泊3日の旅の中の一こまで、交通費を最大限有効活用するため、有休を取得し平成21年6月20日（土）立命館大学48年卒の数物同窓会（第2回）の前日実施する。コースは北陸本線の余呉＝米原間の26.5kmに挑戦する。当初は近江塩津からの歩きを考えていたが、土地勘が全くなく、トンネルの関係で歩くのに相当負荷を要するのではないかと思い今回は余呉からの歩きとする。今回の歩きも6月14日（月）現在の1週間の天気予報を見て決断する。6月15日（火）に米原までの新幹線指定席の購入と全国版の宿泊表を見ながらホテルを予約する。当初は京都五条烏丸東横インを考えていたが、生憎満室のため、野洲駅前のセントラルホテル野洲に変更する。なお、今回の日程は次の通り。

第1節 旅プラン

① 6月19日（金） 晴れ

4時前に起床し、自宅を5時頃出る。

南林間5時30分で町田駅に行き、そこから5時50分のJR線で新横浜に向かう。

新横浜6時46分 → 米原8時49分（ひかり501号：7号車14番A）

乗車券6,620円、特急券4,920円

米原9時2分 → 余呉9時29分（480円）

余呉から米原までウォーキング

米原から野洲まで電車で移動（650円）し、セントラルホテル野洲で宿泊

② 6月20日（土）晴れ曇り

4時50分～7時 ホテル～中州大橋～ホテル ジョギング

8時朝食

9時30分チェックアウトし、野洲から南草津まで移動する。

10時20分～12時20分 草津図書館

13時～15時 立命館大学草津キャンパス散策

16時30分 ホテルルビノ 京都堀川

18時～20時 懇親会

20 時～22 時半 2 次会

③ 6 月 21 日（日） 小雨

7 時 30 分朝食後、9 時 30 分ホテル解散

京都 10 時 22 分（新横浜着 12 時 24 分）ののぞみ〇〇号で自宅へ。

乗車券 7,670 円 特急券 5,220 円

第 2 節 1 日目：2009 年 6 月 19 日（金）：余呉～米原 晴れ

6 月 19 日（金）、余呉に向かって出発する。新横浜から米原までの約 2 時間の新幹線移動時間を利用し、自費出版のため「こだわり鉄道つたい歩き（東海道本線踏破）」の校正に臨もうとしたが、睡眠不足による睡魔が襲い殆どできず。昨年、財布をロストした関ヶ原辺りで目が覚める。あっと言う間に米原（8 時 49 分）に到着する。



在来線の北陸本線に乗り換える。既に加古川方面から来た新快速がホームで待機していた。半分の車両が近江塩津行きとの説明が車掌からあり、前の方の車両に向かう。車両はボックス形式であった。窓側の席はほぼ満席状態であった。車両を写真撮影し、前方の車両に乗り込む。4 人掛けの車両のひとつに座らせてもらう。9 時 2 分、米原を出発する。米原からの窓からの風景を観察する。米原から田村にかけて水田地帯が広がっていた。田村駅には SL 列車の PR ポスターがあった。



田村駅

田村から長浜にかけ琵琶湖が見えて来る。黒っぽい長浜ドームも見える。長浜駅手前で湖畔が見える方向に 28m ある観音像が見える。また、9時 12 分、長浜駅で長浜城が見える。水田地帯が続く。小谷城址のある河手（かわけ）辺りで山間に入る。高月、木ノ本辺りで水田地帯となる。風景に見とれ川の観察を疎かになる。本日の歩きの始点となる余呉駅には 9 時 29 分到着する。



余呉駅

余呉駅は無人駅かと心配したが、親切そうな主婦のような方が改札口において、米原から余呉までの乗り越し料金を精算してもらう。480 円要する。この駅の改札口はホームの米原方面側にあった。30m位改札口までであった。10 分位、この女性の方に余呉から近江塩津までのアクセス方法を教えて頂く。事務所から余呉の見どころパンフレットを提示頂き、丁寧に余呉＝近江塩津までの林道を利用した道順を教えてもらう。近江塩津から余呉までは比較的分かり易い感じであったが、逆は大変そうであった。



余呉駅前



、賤ヶ岳観音堂登り口案内板



木ノ本駅への道



9時45分、駅前で記念写真を撮り木ノ本方面に向かう。65歳位の夫婦連れの姿があった。ここから1時間半位ある賤ヶ岳古戦場を目指したのであろう。その他余呉湖が近くにあった。9時52分、賤ヶ岳観音堂登り口あり。9時58分、前方を下り電車が通過して行く。それから前方に国道365号の案内板がある。左手は越前市、右手は木ノ本・長浜であった。10時、複線の北陸本線の窪田踏切を渡り、鉄道の左側となる。余呉湖はごろも市の旗が風で揺らいでいた。本日は少し汗ばんでいて木陰が快い場を提供してくれた。万歩計で38歩ある余呉川を渡る。10時5分、国道365号の余呉湖口に出る。下余呉バス停（余呉バス）から長浜25km、木之本4kmとあった。10時9分、2両編成の下り電車と対面する。10時9分下余呉交差点に入るや否や右手に上り電車が通過して行く。余呉駅は山間の谷間にあった。10時16分、再生ダム建設所前を通過。10時17分、8両編成の下り特急電車が通過して行く。余呉町坂口という地名であった。10時29分、意波閘神社前を通過。この神社の木陰の森は心地よい空気を提供してくれた。



意波閘神社



余呉川

10時32分、国道365号線はJR線を下にする。すなわち、万歩計で319歩ある余呉大橋を渡り、鉄道の右側に出る。ここから長閑な田園地帯が一望できた。橋を下りると鉄道に沿って、公園風の50m位桜並木が続いていた。足元は手入れされておらず雑草が生い茂っていた。10時41分、余呉町から木之本町に入る。10時45分、木之本町黒田を通過。すぐ傍に右手に小さな太鼓橋をもつ神社があった。10時49分、湖北サイクルロード7のある看板前を通過。10時52分、余り水がない余呉川（黒田大橋：123歩）を越える。

11時、そろそろ木ノ本駅と思い、国道365号線を離れ左折しJR線に近づく。11時4分、北陸縦貫自動車道下を通り抜ける。かなりJR線からはずれていた。途中数名の保育園児と対面する。近郊地図があり、現在位置から木ノ本駅を探す。第一黒田踏切（11時6分）を越えて右に暫く行った先にこの駅があった。近くには金比刀羅があった。11時15分、やっと奥玄関口の木ノ本駅に到着する。駅舎はガラス張りの2階建の蔵のようなイメージであった。旧木ノ本駅舎（1936～2006）前に新駅舎の注釈があった。新駅舎は北国街道の宿場町イメージをもつ街道の町屋に見られる「うたつ」を備えた純和風で建てたとあった。赤い郵便ポストには兜が乗せられていた。



木ノ本駅



木ノ本駅前

駅前には賤ヶ岳古戦場（羽柴秀吉×柴田勝家）のアクセスの看板（西へ2.5Km）があった。びわこ銀行前を真っ直ぐ鉄道に沿って歩くが、150m位行った先で行き止まりとなる。止むを得ず引き返す。木ノ本踏切（11時33分）を越えて、鉄道の右側に出て、国道8号線

を歩くことにする。国道を出た先に滋賀銀行とガソリンスタンド ENEOS があつた。11 時 39 分、レンガ色の 3 階建の立派な木之本役場前を通過。この近郊で手頃の食事場所があつたが、12 時前であつたのでパスする。後で考えると大失敗であつた。11 時 43 分、木之本広瀬辺りで長浜 15Km、大津 84Km の道路標識を見つける。11 時 55 分、右手に石作（いしつくり）神社前を通過。



高月駅

立派な建物である高月（たかつき）役場前で合併の看板があつた。平成 22 年 1 月 1 日付けで次の市町が合併し、新しい長浜市が誕生するとあつた。すなわち、長浜市、虎姫町、湖北町、高月町、木之本町、余呉町、それから西浅井町である。まもなく歩くと赤い旧式郵便ポストが駅舎にある高月駅（12 時 35 分）に到着する。駅舎の真ん中には満月のような窓があつた。ここの駅舎も最近できた感じであつた。13 時 1 分、湖北町に入る。食事にしたいが適当な店が見当たらず。100 ショップ（ダイソー）と並んだマクドナルドがあつたがパスする。この辺りから山間となるはずであるが、山が見当たらず。それで高速道路方面に向かって進路変更する。13 時 12 分、高時川の土手にぶつかる。それで土手を歩き橋まで、13 時 19 分、304 歩ある橋を渡る。橋の袂で通行人に河毛駅を尋ねるが「不案内」との回答。橋を渡った先で 100m 位前方に電車が通過して行くのを見つける。安堵する。それで、高時川に沿った竹林のある赤茶色の自転車歩行道を歩く。300m 位心地よい森を歩く。



河毛駅への道



河毛駅

この森を通り抜けた先を 150m位左折した先に河毛駅（13時38分）があった。駅の手前には小谷城跡のPRの看板があった。また、駅前には浅井長政とお市の方の銅像があった。再度、河毛踏切に戻り、鉄道の右側に沿って30分位歩く。途中、雑草がある農道となるので歩きにくし。14時5分、歩きにくい歩道が行き止まりとなる。進路変更し虎姫町（14時16分）に入る。ここで河毛駅から万歩計をはずして歩いていることに気づく。14時25分、分岐点に到達し、右に行くか左に行くか迷う。迷った結果、引き返し覚悟で鉄道に近づく左を選択する。結果的に大成功する。14時31分、虎姫駅に到達する。



虎姫駅

駅舎と繋がった森のパンやさん「スナップチップ」で15分位休息する。もうひとつパスタの店があったが準備中であると断られる。この駅から少し歩いた先に大將軍神社（14時55分）があった。15時JR線を下にする。すなわち鉄道の右側に出る。姉川の土手にぶつかる。再度、八幡立踏切を横切り鉄道の左側に出る。万歩計で277歩ある姉川（新大井橋：平成5年竣工）を渡る。この川も水は殆どなかった。規模は別にして琵琶湖に流れ込む川が多いことに驚く。水田にある稲は青々していともあるし、田植えを最近したばかりの水田もあった。



大將軍神社 姉川



長浜駅への道 井戸踏切

15時28分、長浜市に入る。まもなく歩くと県道265号線（丁野虎姫長浜線）にぶつかる。長浜市下之郷町という交差点だった。この道路を横切り暫く直進するが、鉄道が見えなく不安のなったため鉄道に近づく努力をする。やっとJR線の線路が見え安堵する。暫く脇を歩く。長浜駅は朝のイメージから湖畔の近くがあったため、故郷と同じ地名の「井戸」がつく井戸踏切を横切り鉄道の右側に出る。殿町という地名であった。この辺りから泥臭い臭いがする。琵琶湖近いと感じる。くねくねと市内の道を散策し、長浜城を目指す。



豊公園 長浜城

16時30分、豊公園と直結している長浜城に到着する。この城はNHK大河ドラマ等によく見かける。秀吉が浅井長政を倒した功績で得た城で、初めて大名として秀吉が入場した城として私の記憶に強く残っている。この城から150m位行った先に長浜駅（16時35分）があった。



長浜駅



琵琶湖

16時45分、港町交差点に出る。湖畔は目前であった。一層泥水の臭いが強まる。16時48分、やっと湖畔に出、米川橋から琵琶湖湖畔の景色をカメラに収める。



長浜びわこ大仏

琵琶湖湖畔

暫く湖畔を歩く。まもなく28mある青銅製の「長浜びわこ大仏」(88トン)が見て来る。この大仏は平安山良疇寺にあった。説明看板によると北条時頼が建立したとあった。花の見頃の注釈もあった。梅が3月、桜が4月、ツツジが5月、サツキが6月、蓮が8月、もみじが11月とあった。信心深い人が大仏前でお参りしていた。樫原ファミリーの健康をお願いしてこの寺を後にする。17時15分、長浜新川で27℃の表示がある。この川に架けられた下坂浜大橋は万歩計で91歩だった。17時30分、100m位先に長浜バイオ大学が見える。線路に近づいて田村駅を探す。150m位先に田村駅が見える。



田村駅



長浜ドーム

セブンイレブンに立ち寄り単4電池とアイスを購入する。巨人=ロッテ戦を聴くため

ある。それから、田村駅を念のため店員に尋ねる。誤って解釈する。道路を渡り長浜ドームまで行く。駅は道路を真っ直ぐ行って突き当たりを左折したところにあった。100m位行き過ぎていた。田村駅には 17 時 50 分到着。長浜バイオ大学の構内を通った先に田村駅があった。駅舎は鉄道を越えた先にあった。バイオ大学側から写真を撮る。長浜バイオ大学は母校立命館大学と提携関係があり、この大学でも単位が取れる科目があると、後で判明する。また、長浜ドームはソフトボール等の専門の球場で野球ができるだけの大きさはないとのことであった。

長浜ドームで 18 時になったので、巨人＝ロッテ戦を聴こうとするがかからず。横浜＝西武戦が放送されていた。本日は予備日で横浜＝西武戦以外は当初からなかった。結果は吉村等が活躍し横浜が 6 対 5 で逆転勝利する。18 時 10 分、米原市長沢を通過。なおも湖畔に沿ったさざなみ街道を歩く。18 時 20 分、万歩計で 95 歩ある土川（つちかわ：土川橋）を渡る。すぐ近くに湖畔に沿って神明キャンプ場があった。18 時 25 分、近江母の郷という道の駅前を通過。金曜日の夕方のためか、道の駅には車は殆ど停められていなかった。そろそろ坂田駅と思い、湖畔から離れ鉄道に近づく道に切り替える。辺りはうす暗くなりかえていた。19 時陸橋を渡り、鉄道の左側に出る。陸橋から少し戻った先に坂田駅（19 時 8 分）があった。駅前には白い像のなでしこ山内一豊公と千代夫人があった。丁度上り下り電車が来る。線路沿いの道路を歩く。19 時 20 分、天野川橋を通過。東海道新幹線が左手に見える。米原駅が近いことを知る。19 時 30 分、米原まで 1.8km の看板を見つける。すぐ行った先の井戸町踏切を横切り鉄道の右側に出る。鉄道に沿って歩く。



坂田駅 なでしこ

米原駅の直ぐ手前で本日所沢から歩きに来たという私より少し年輩の方に出会う。この人は中山道を歩いており、本日は私が財布等をロストした垂井からを始点として歩いたとのこと。一日 50 km を目安に歩いているとのこと。宿泊は歩けるところまで歩き、現地で宿泊場所は探している。本日は昼飯を食べずに歩いた。明日明後日で京都を目指している

とのことだった。一方、私の方から次のように回答する。「神奈川から来、本日は余呉から歩いた。黒磯＝姫路間を歩き終えた。大津から京都は山が二つあり結構厳しい。不案内の場所では夜道は危険。私は本日野洲で宿泊する。」と。この方は取りあえず駅前で夕食を取ります。名前も聞かずに別れる。また縁があれば、この方とどこかで逢うかも知れない。米原駅には 19 時 50 分に到着。650 円の乗車券を購入し、米原 19 時 59 分初（始発）の加古川行き各駅停車に乗る。



米原駅



セントラルホテル野洲

野洲駅北口から徒歩 1 分位先にあるセントラルホテル野洲駅には 20 時 55 分に到着する。部屋は最上階である 8 階の 1807 号室だった。朝食代も含めホテル代は 7,100 円（うち朝食代 700 円）だった。明日のジョギングコースを尋ねる。湖畔までの距離も聞く。それから夕食する場所を尋ねる。部屋に入り、荷物を置いて夕食に出かける。バーミヤン、王将、すき家が目に付く。迷った結果、王将で餃子定食と生ビールを注文する。10 個の餃子、サラダ、天津、味噌汁がある定食（780 円）であった。ビールも含め 1,250 円位であった。ホテルには 21 時半過ぎに戻る。本日の営業キロは 26.5Km、万歩計はカウント忘れを除き 62,001 歩であった。本日の歩きで琵琶湖一周の踏破が現実味を帯びて来たような気がする一日だった。



野洲駅前

第3節 2日目：6月20日（土）：数物同窓会に出席 晴れ

2009年6月20日（土）4時半過ぎに起床。天候は晴れ。4時50分からホテル～琵琶湖畔までジョギングによる往復に挑戦する。7時位までにはホテルに戻りたかったので、6時まで遠くまで行き、そこから折り返す予定で走る。松林、西河原、守山市小浜町の地名が印象に残る。野洲川沿いを走った先に中州大橋（さざなみ街道）があった。この橋から琵琶湖が一望できた。5時55分だった。それから来た道路を引き返す。ホテルには6時55分に到着。少なくとも17から18kmは走ったような気がする。フロントに自慢話をしながら鍵をもらう。緒方君から「本日所用ができ草津キャンパスは行けない」旨の電話がある。朝風呂にゆっくり入り、8時、ホテルの隣にある「ねぼけ」という居酒屋で朝食を摂る。レストラン風でなくがっかりする。朝食後小休憩し、9時半頃ホテルを後にする。

10時前の電車で南草津駅（190円）駅に向かう。南草津駅前にある草津図書館で2時間程、健康・ジョギング関連を中心に雑学勉強をする。12時20分頃この図書館を出て、南草津駅改札口前に向かう。島津君が既に来ていた。待ち時間を利用し、自費出版原稿（こだわり鉄道つたい歩き）を見せる。暫くして芦尾君、それから高田君、最後に大久保君が来る。予定通り13時前に待ち合わせ完了する。バス乗り場へ移動し、立命館大学草津キャンパス（220円）を目指す。13時過ぎのバスに乗る。所要時間は15分位。私は数年前草津キャンパスを訪問したことがあり、懐かしく思えた。他の4人は初めてとのことであった。キャンパスの広さに驚いていた。また、芦尾君は清掃が行き渡っていたので一層驚いていた。本日は土曜日ということもあり、構内を歩く学生は少なかった。1時間位構内を散策する。最後はバス停前の色々情報交換しながら食堂で一息入れる。私はバナナパuffエ（410円）を注文する。久しぶりパuffエを口にする。とても美味しかった。30分位懇談後、草津キャンパスを後にする。南草津から京都まで移動後、地下鉄で丸太町烏丸まで行き、そこから徒歩でホテルルビノ京都堀川まで行く。



草津キャンパス

ホテルには 16 時半頃到着。フロントによると「お一人お見えになっている」のとことであつた。高田君にチェックイン手続きをしてもらい、幹事部屋（316 号）に入る。部屋に入りと丸山君が浴衣姿に着替えているとことであつた。まもなくすると、朝日君、山川君、神野君、緒方君が登場する。情報交換し一息ついたところで、高田君の方から通信欄と名簿を渡してもらい会計をしていただく。空き時間を利用し、寄せ書きを記入してもらう。また、近い将来に自費出版予定の「東海道本線の巻き」をご覧頂く。甘党の意見もあれば辛党の意見もあつた。しかし、概ねは「よく書いたね」とお褒めを頂く。山岸君が山下君の方に電話していただく。今タクシーの中とのことであつた。井上君、宮下君、岩切君、塚本君は既に宴会部屋に行っていた。会計事務もあるので、316 号の方に来て頂く。18 時少し前に 15 人目の山下君が登場する。これで本日予定のメンバーが全員揃う。

15 名が揃ったところで同じフロアの宴会場の方に移動する。宴会前で記念写真を撮り、緒方君の司会で第 2 回数物同窓会が進行する。暫く懇談したところで、緒方君の司会にて時計回りで近況報告等をする。あつと間に 2 時間余の楽しいひと時が過ぎ去る。次回は通信欄等と意見も配慮し、2 年後の 6 月第 3 週目の土日とする。



第2回数物同窓会

9時過ぎから感じ部屋に移動し、2次会を開催する。23時頃まで続く。その後久しぶりに芦尾君と囲碁を打つ。1勝3敗と大きく負け越したが、楽しいひと時であった。316号では大久保君と丸山君が夢の中であった。本日泊まりの高田君、島津君、緒方君は5階の方に移動していた。

4時過ぎに目が覚める。雨模様であった。芦尾君と色々世間話をする。朝風呂にも入る。高田君が7時半頃朝食の食券を持ってきてくれる。7時45分頃1階にあるレストランに入り、バイキング形式の朝食を摂る。30分位要する。朝食が終わった段階で幹事部屋にて精算処理等を終え、ホテルを9時過ぎ出る。ホテルを出る時傘を射さなくなっても行ける程度の小雨であった。ホテル前で解散する。